

## 平成30年度 第1回 大衡村総合教育会議 議事録

日時：平成30年11月8日（木）

午前10時から

場所：大衡村役場 2階 会議室

- 出席者：大衡村長 萩原達雄，教育長 庄子明宏，  
教育委員 渡邊勇，教育委員 齋藤さと子  
教育学習課長 八巻利栄子，課長補佐 亀谷明美，生涯学習担当課長 渡邊愛  
総務課長 早坂勝伸，主査 千葉岳史（書記）
- 欠席者：教育長職務代行者 高橋健正，教育委員 鎌田澄子

### 1. 開会（進行：総務課長 早坂勝伸）

開会時刻：午前10時

### 2. 挨拶（大衡村長 萩原達雄）

[省略]

### 3. 協議…大衡村総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により村長が議長となり進行する。

#### （1）平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

<萩原村長>早速，協議に入ります。協議の（1）平成30年度全国学力・学習状況調査結果について，八巻課長より説明をお願いします。

<八巻課長>（1ページの資料に基づいて，説明）

<萩原村長>はい。ただいま，全国学力・学習状況調査の結果について，八巻課長から説明がありました。この件について，皆さんからご意見，あるいは所見などがありましたら，お願いしたいと思いますが，私から少しお話しさせていただきますと思います。

小中学校ともに，国語の「話すこと」「聞くこと」「読むこと」が県・全国の平均を大きく下回ったということで，いろいろ理由があるのだろうが，大変な状況だと思います。授業以外に読書をしない子どもが約半数とのこと。

参考までに先日、宮城県町村会として宮城県や県議会へ要望を行った際に仙南地方の首長さんから伺ったお話しをしたいと思います。その町長さんのお話しによると「隣の学力は仙台市を除いた県内の市町村の中でトップである。しかし、わが町の学力はよくない。同じ地域ながら、どんな違いがあるのかと思い、学力テストの回数や指導主事の有無、ALTなどの比較を行っている。危機感を抱いており、教育に力を入れなければならない。」とのことだった。私もそのとおりだと実感してきた。

<渡邊委員> 学力調査の結果、全国・県の平均を下回ったとのことだが、先生の教え方はどうなのかなと思います。学習指導要領に基づいたものだと思いますが。それから家庭環境が一番問題ではないか。共働き世帯が増え、家庭に帰った子どもたちは読書よりテレビやゲームをするようになっているのではないか。PTA活動に保護者の参加が少ないとも言われている。そのあたりに力を入れる必要があると思います。

<齋藤委員> 先日、PTAを対象にした研修会に参加しました。「子どもの意欲をどう引き出すか」というお話しでした。そのあとで中学校の合唱コンクールを聞いたのですが、年々レベルが上がってきている。合唱コンクールの前から「合唱が上手だよ」といった雰囲気づくりがよく、子どもたちのスイッチが入っている。質問紙調査で「先生はよいところを認めてくれる」の質問が平均を下回っている。親はどうしても悪い部分を見てしまうが、子どもたちは褒められることを望んでいるのだろう。子どもたちには「できるんだよ」という観点で接してもらえればと思います。

<萩原村長> そうですね。自分が不得意だと思うことも褒められれば、意識が変わると思います。子どもたちはもちろん、先生方も褒めることが必要かなと思います。

<渡邊委員> 先日の学芸会で「走れメロス」があった際に、子どもたち5人くらいに「走れメロスはどこの童話なの？」と聞いたら、答えられたのは1人だけだった。劇は素晴らしかったのですが、そのあたりも踏まえて教えてもらえればと思います。子どもたちが聞いていないのかもしれませんが、また、親が「今度の学芸会の走れメロスはどこの童話？」といった会話ができるといいのかなと思います。

<萩原村長> 渡邊委員がおっしゃることは大事なことだと思います。

家に帰って、子どもが今日の出来事を親に話すことはあまり多くないと思います。親が家庭で夕食時などに子どもと会話をする時間が少なくなっているのではないかと思います。親子そろってご飯を食べることができない家庭もあるのかなと思います。

先日、学習塾に通う子どもの迎えに来たという住民の方と偶然、お会いしました。お話しを聞いたところ、授業が終わったあとに学習塾に通っているとのことだった。こういったことで学力に差が出るのだろうし、ある程度、経済的に余裕のある家庭なのだろう。貧困による教育の格差というものも存在するのだろうと思います。

<渡邊委員>年度によって、成績が上下するものか？

<八巻課長>そうです。全国の平均も上下します。

<渡邊委員>今回はだいぶ下がったようだが、そうでない時期もあったのでは？

<八巻課長>結果が低いときばかりではなかったと思うが、今年度は宮城県自体がよくなかった。

<渡邊委員>宮城県の学力が落ちたのは、まだ震災の影響があるように聞いている。沿岸部の方が内陸へ移転したが、子どもの精神は安定していないようだ。

<萩原村長>ここ10年くらいの傾向はどうですか？

<八巻課長>昨年は県と比較すると低い状況です。

<萩原村長>県より上回っていたときはあったのか？

<庄子教育長>数年前に部分的に上回ったことはありました。学年を継続的に調査していないので、その学年によってその学力がそのまま大衡村の結果として出てしまう。この調査結果から大衡の学力がよいか、そうでないかは述べられないと思います。ただし、学力がよくないのは確かだと思います。家庭学習の時間や授業以外に読書をしないなどは問題だと感じており、何とかしなければならないと思っています。小学校は学力向上の指定を受けて、算数は徐々に上がってきている。話を聞かない子どもが年度初めは結構いたが、いまは話を聞くようになっている。中学校はしっかり話を聞いてお

り、指導がされている。小学校ではここ2～3年、教職員が共通理解を図りながら、チーム一丸となって指導を進めている。中学校では合唱コンクール、応援活動、生徒会活動など積極的に生徒が動いており、素晴らしいと思っている。そういう意味では教職員の研修・資質向上は今後、さらに必要になってくるだろうと思っているが、共通した課題として子どもを育てることを学校に任せきりになっていないだろうか。子どもは保護者が中心となり、先生と地域で育てていかなければならない。その意識の低下があるのではないかと思っている。学び支援事業については平成31年度から県の補助金がなくなる。今年度同様に続ける場合は村費のみで、例えば旧幼稚園舎の広い場所で机を置いて行うこともできるかと思っている。いずれにしても、家庭で親が子どもたちに接することをもっと大切にしたい。家庭学習にしっかりと取り組んでもらうようにしてほしいと思います。人間的には成長していると思います。

<萩原村長>そうですね。人間的には素晴らしい子どもたちだと思います。子どもたちは素直に育っていると思います。ただ、もう少し学力をつけてもらえればなど思うところでもあります。教育というのは短い時間でできるものでない。今、やっていることがすぐに成果として表れるものではない。その成果は何年後、何十年後であろう。ただ、今からやらなければ、村の人材が育たない。手間、暇かけて地道にやっていかなければならないのだろう。

<萩原村長>次に(2)平成30年度いじめ・不登校についてをお願いします。

<八巻課長>(2ページの資料に基づいて、説明)

<萩原村長>いじめ・不登校について、委員のみなさんからご意見ををお願いします。

<渡邊委員>平成29年度における宮城県の不登校状況は全国でワースト1ということだ。いじめの認知件数はワースト3。小さなことでもいじめとして扱うようになったとしても、なぜなのだろうと思っている。

<萩原村長>今のいじめはどのようなものなのか？

<八巻課長>例えば、小学校だと同級生から嫌なこと、悪口を言われる。本人が「嫌だ」「これはいじめだ」と思えば、いじめと捉えている。中学校では部活動の中の上下関係であったり、同級生間で嫌なことを言われたり、拒絶されたりと

いったことをいじめと捉えている。また、男子の場合は物をぶつけられたり、蹴られたりということがあった。

<萩原村長>それは誰にいうのか？

<八巻課長>親や先生に訴えて、いじめと認知して対応している。

<渡邊委員>重大ないじめが発生した場合の対応について、報道機関などの対応窓口を決めておく必要があるのではないか？

<庄子教育長>そういった場合のマニュアルがあり、小中学校の場合では教頭が窓口になります。

<萩原村長>大衡村いじめ問題調査委員会で取り扱った事案はなかったと思うが？

<八巻課長>これまでのところ、大衡村いじめ問題調査委員会で取り扱うような長期の欠席を余儀なくされたり、自殺・自死に至る事案はないが、万が一に備えて設置している。

<萩原村長>いじめの原因はどのようなものが考えられるのか？昔は容姿や身なりをからかわれてのいじめが多かったと思う。

<庄子教育長>姿や格好に原因があるいじめはないと思います。動きが遅いとか気が利かないといったことを指摘され、それをいじめと考えることもあるようです。何年か前にはスマホによる誹謗中傷の事案もありました。

<萩原村長>教育は長い時間をかけて結果が出るものです。すぐに結果が出ないからといって、あまり力を入れないというものでは絶対にありません。力を入れなければならないものであると思っています。ただ、財政面の考えもありますので、皆様のご意見をいただきながら、進めていきたいと思っています。

<萩原村長>次に（３）平成30年度教育施設・設備の整備についてをお願いします。

<八巻課長>（３ページの資料に基づいて、学校施設関係を説明）

<渡邊課長>（３ページの資料に基づいて、社会体育施設関係を説明）

<渡邊委員>村民体育館の男子トイレは入った途端に臭い。早めに対策をしてもらえればと思います。

<萩原村長>女子トイレの臭いはどうなのか？

<渡邊課長>確認したところ、女子トイレは臭くない。

<萩原村長>村民体育館のトイレの話が出ているところだが、講堂のトイレを改修したいと考えている。講堂のトイレは和式のみで敬老会の際に洋式のトイレ整備の要望があった。

<齋藤委員>小学校体育館の北側、給食センター側の駐車場の白線が消えている状況である。

<八巻課長>確認の上、今後、検討する。

<萩原村長>将来的には給食センターの建て替えをしなければならない。その後に小学校プールの改修をする必要がある。村民庭球コートは国道4号の拡幅工事に伴い、移転しなければならない状況であり、その場所を皆さんで考えていきたいと思っている。  
これらについては計画性を持って、進めていかなければならないと思っています。

<萩原村長>本日はいろいろな案件について協議させていただきましたが、今後もよりよい教育行政を目指していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

<早坂課長>それでは、以上もちまして第1回大衡村総合教育会議を終了とさせていただきます。大変ありがとうございました。

#### 4. 閉会

閉会時刻：午前11時45分

本議事録は事務局書記が記載したものであるが、その内容に相違ないことを証明するためここに署名する。

平成30年11月8日

大衡村総合教育会議出席者

大衡村長 萩原 達雄

教育長 庄子 明宏

教育委員 渡邊 勇

教育委員 齋藤 さと子